



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 イオンモール株式会社

コード番号 8905 URL <http://www.aeonmall.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡崎 双一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当

(氏名) 梅田 義晴

TEL 043-212-6733

四半期報告書提出予定日 平成24年12月28日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	115,432	5.3	27,676	△0.7	25,989	△2.0	13,952	△0.7
24年2月期第3四半期	109,617	2.9	27,865	△0.4	26,531	△1.6	14,046	△10.7

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 13,913百万円 (△1.2%) 24年2月期第3四半期 14,075百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年2月期第3四半期	77.02	76.99
24年2月期第3四半期	77.54	77.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	599,201	204,452	34.0
24年2月期	543,761	194,474	35.6

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 203,565百万円 24年2月期 193,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年2月期	—	10.00	—	11.00	21.00
25年2月期	—	11.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	164,000	8.7	43,500	7.0	41,000	5.0	23,000	13.0	126.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、決算日を2月20日から2月末日に変更しており、平成25年2月期は12ヶ月8日となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期3Q	181,150,407 株	24年2月期	181,148,807 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	10,590 株	24年2月期	10,270 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	181,138,774 株	24年2月期3Q	181,130,713 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により景気は持ち直しの動きがみられましたが、長期化する欧州債務危機問題や新興国の景気減速感等により、国内の雇用・所得環境は足踏み状態であり、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界では、お客さまの節約志向により低価格競争が恒常化し、業態を越えた競争が激化しています。ショッピングセンター（SC）業界におきましても、SC間の格差が拡大する等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新規事業拠点の拡大と既存モールの収益向上による国内での事業基盤の拡充、中国・アセアン地域におけるモール・ビジネスの展開に向けた基盤づくりを推し進めております。

国内におきましては、4月にイオンモール福津（福岡県）、6月にプロパティ・マネジメント事業としてショッピングセンターソコカふじみ野（埼玉県）をオープンいたしました。

中国におきましては、4月に中国3号店となるイオンモール天津中北(天津市)をオープンいたしました。

既存モールにおきましては上半期に2モールのリニューアルを実施し、当第3四半期には、9月にイオンモール盛岡（岩手県）、11月にイオンモール成田（千葉県）をリニューアル・オープンいたしました。

また、全国約120のモール（前期にイオングループの国内モール型SC名称を「イオンモール」に統一）で実施した統一セールをはじめ、ブランド力を活かした集客向上の施策を推し進めました。これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の既存54モールの来店客数・売上とも前期を上回って推移いたしました。

また、国内外の新規開発案件確保が進展しており、今後加速する新規出店に向け、組織体制の強化を図っております。

これらの取り組みの結果、営業収益は1,154億3千2百万円(前期比105.3%)となりました。営業原価は事業規模拡大の一方、コスト構造改革により776億2千5百万円(同105.5%)となり、営業総利益は378億6百万円(同105.0%)となりました。一方、販売費及び一般管理費が国内外における成長施策の推進により101億2千9百万円(同124.4%)となり、営業利益は276億7千6百万円(同99.3%)となりました。

経常利益は、営業外収益が5億5千2百万円(同58.0%)、営業外費用が22億4千万円(同98.0%)となった結果、259億8千9百万円(同98.0%)となりました。

特別損益では、特別利益が、前第3四半期連結累計期間と比較し21億6千4百万円の減少となりました。これは、前第3四半期連結累計期間において、地震保険受入20億3千2百万円等、21億6千4百万円の計上があったことによるものです。特別損失は、前第3四半期連結累計期間と比較し33億4千8百万円の減少となりました。これは、当第3四半期連結累計期間において、スクラップ&ビルドを計画しているイオンモール藤井寺の閉店に係わる費用10億4千5百万円（減損損失7億4千5百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額3億円）等、14億3千6百万円を計上する一方、前第3四半期連結累計期間では、東日本大震災による建物・構築物等の回復費用等22億9千2百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額17億6千1百万円等、47億8千4百万円の計上があったことによるものです。

以上の結果、四半期純利益は139億5千2百万円(同99.3%)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における当社の運営・管理するショッピングモールは、国内59、中国3の計62となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して554億3千9百万円増加して、5,992億1百万円となりました。これは、新規モールの開設、将来の開発用地の先行取得等により有形固定資産を374億5千3百万円取得したことに加え、現金及び預金が211億3千6百万円と増加した一方で、固定資産が減価償却により157億7千万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して454億6千1百万円増加して、3,947億4千9百万円となりました。これは、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が81億1千万円、短期借入金が105億円、社債（1年内償還予定の社債を含む。）が250億円純増したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して99億7千8百万円増加して、2,044億5千2百万円となりました。これは、四半期純利益139億5千2百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して212億6百万円増加した296億4千7百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況等については、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、283億2千6百万円（前第3四半期連結累計期間303億6千9百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が245億5千3百万円（同239億1千1百万円）、減価償却費が157億7千万円（同156億1千7百万円）となる一方で、法人税等の支払額が151億4百万円（同193億7千8百万円）となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、393億1千5百万円（同324億4千2百万円）となりました。これは、前連結会計年度にリニューアルオープンしたイオンモール倉敷の設備代金、当第3四半期連結累計期間にオープンしたイオンモール福津の設備代金の支払、開発用地の先行取得等により有形固定資産の取得による支出が337億6千7百万円（同389億4千9百万円）となったことに加え、中国での土地使用権購入等により無形固定資産の取得による支出（「その他支出」を含む。）が52億7千1百万円（同5億8千5百万円）となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、322億8千1百万円（同87億1千5百万円）となりました。これは、長期借入れによる収入が331億7千8百万円（同300億円）、社債の発行による収入が250億円（同増減なし）、短期借入金及びコミューナル・ペーパーの純増額が35億円（同増減なし）となる一方で、長期借入金の返済による支出が254億2千9百万円（同176億5千4百万円）、配当金の支払額が39億8千5百万円（同36億2千2百万円）となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後も、個人消費は厳しい状況が予想されますが、12月6日には、イオンモール水戸内原（茨城県）を増床・リニューアルにより専門店の6割を刷新してリニューアル・オープンし、好調に推移しております。

第4四半期はクリスマス、年末年始等の社会行事の関係からショッピングモール売上高構成比が高い期間であり、12月上旬からのグループ統一セール展開をはじめとする施策の実施等により、集客向上とテナント売上増加に取り組むとともに、運営・管理の効率化等によるコスト構造の見直しをはかり、モールの効率性を高めてまいります。

2013年2月期通期業績予想につきましては、2012年4月5日に公表いたしました「2012年2月期決算短信」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,600	29,737
営業未収入金	3,254	2,516
その他	17,114	27,169
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	28,962	59,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	274,173	275,732
土地	144,992	165,224
その他(純額)	14,411	13,674
有形固定資産合計	433,577	454,630
無形固定資産	3,018	7,702
投資その他の資産		
差入保証金	54,403	53,084
その他	23,917	24,484
貸倒引当金	△117	△116
投資その他の資産合計	78,203	77,453
固定資産合計	514,799	539,787
資産合計	543,761	599,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年11月20日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,112	6,309
短期借入金	5,655	16,155
コマーシャル・ペーパー	7,000	—
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,364	20,899
未払法人税等	7,310	3,256
賞与引当金	538	650
役員業績報酬引当金	108	39
その他	46,882	58,264
流動負債合計	100,973	115,575
固定負債		
社債	33,000	48,000
長期借入金	105,891	121,467
退職給付引当金	165	199
店舗閉鎖損失引当金	—	300
資産除去債務	6,114	6,205
長期預り保証金	102,877	102,767
その他	264	233
固定負債合計	248,314	279,173
負債合計	349,287	394,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,683	16,685
資本剰余金	16,992	16,993
利益剰余金	159,910	169,878
自己株式	△27	△27
株主資本合計	193,559	203,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	282
為替換算調整勘定	△140	△246
その他の包括利益累計額合計	124	36
新株予約権	124	154
少数株主持分	665	732
純資産合計	194,474	204,452
負債純資産合計	543,761	599,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年2月21日 至 2011年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年11月20日)
営業収益	109,617	115,432
営業原価	73,611	77,625
営業総利益	36,005	37,806
販売費及び一般管理費	8,139	10,129
営業利益	27,865	27,676
営業外収益		
受取利息	366	308
受取退店違約金	408	154
その他	176	89
営業外収益合計	951	552
営業外費用		
支払利息	1,992	1,927
その他	293	312
営業外費用合計	2,286	2,240
経常利益	26,531	25,989
特別利益		
受取保険金	2,032	—
その他	132	0
特別利益合計	2,164	0
特別損失		
減損損失	—	745
災害による損失	2,292	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,761	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	300
固定資産除却損	634	110
その他	96	280
特別損失合計	4,784	1,436
税金等調整前四半期純利益	23,911	24,553
法人税、住民税及び事業税	10,077	11,124
法人税等調整額	△267	△572
法人税等合計	9,809	10,552
少数株主損益調整前四半期純利益	14,101	14,001
少数株主利益	55	48
四半期純利益	14,046	13,952

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年2月21日 至 2011年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,101	14,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	18
為替換算調整勘定	△41	△106
その他の包括利益合計	△26	△88
四半期包括利益	14,075	13,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,020	13,864
少数株主に係る四半期包括利益	55	48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年2月21日 至 2011年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,911	24,553
減価償却費	15,617	15,770
減損損失	—	745
災害損失	2,292	—
受取保険金	△2,032	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,761	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	300
受取利息及び受取配当金	△384	△326
支払利息	1,992	1,927
営業未収入金の増減額 (△は増加)	304	740
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△3,923	△10,040
営業未払金の増減額 (△は減少)	557	1,196
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	9,145	10,175
その他	922	1,894
小計	50,164	46,935
利息及び配当金の受取額	41	55
利息の支払額	△2,283	△2,067
災害損失の支払額	△174	△1,493
保険金の受取額	2,000	—
法人税等の支払額	△19,378	△15,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,369	28,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,949	△33,767
有形固定資産の売却による収入	58	—
投資有価証券の取得による支出	—	△280
差入保証金の差入による支出	△1,037	△233
差入保証金の回収による収入	2,523	1,876
預り保証金の返還による支出	△4,938	△4,489
預り保証金の受入による収入	5,250	3,904
その他の支出	△1,072	△6,548
その他の収入	5,722	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,442	△39,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	3,500
長期借入れによる収入	30,000	33,178
長期借入金の返済による支出	△17,654	△25,429
社債の発行による収入	—	25,000
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△3,622	△3,985
少数株主への配当金の支払額	△6	△6
その他	0	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,715	32,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△126	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,516	21,206
現金及び現金同等物の期首残高	27,631	8,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,147	29,647

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。

(6) セグメント情報等

当社グループは、モール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。